

留学生人材活用ガイド

～留学生インターンシップ・リクルート事例集～

大分県
大学コンソーシアムおおいた

株式会社 山下工芸

●事業内容:卸売業・小売業

●本社所在地:別府市上人仲町13-43

●正社員数:20名

●外国人在籍数:1名(中国)

●URL:

<http://www.yamashita-kogeい.com/>

□採用の背景

中国への工芸品販売や、中国での事業強化のため。

□活用のポイント

留学生はキャリアアップ志向が強いので、ただ仕事をやってもらうではなく、任せてみることも大事。日本人と考え方が違うからこそ留学生から出てくるアイデアを大切にしている。また、1か月に1度社内での勉強会を開き、自身の抱えているプロジェクトや現状報告の時間を設けることで、国籍や文化にとらわれない社風作りができる。留学生が当社で学んだことを、いつか母国で活かしてくれることほど嬉しいことはない。

元留学生のインタビュー

□入社を決めた理由

就職活動の際、山下社長と直接会って面接を受けたことがきっかけ。社長の人柄に惹かれ入社を希望。その後3ヶ月の研修を経て正社員になった。

□主な仕事内容

輸出入を担当。輸入は海外メーカー様の品質管理から納品までの管理を行い、輸出は主に中国と台湾市場を担当している。

□今後の目標や夢

今は海外出張なども任せてもらい毎日が真剣勝負で充実している。今後は日本ならではの良い商品や自社製品をもっと海外に紹介していきたい。



【インタビュー】
代表取締役社長
山下 謙一郎 氏
元留学生
公 延凱 氏

ウェブリオ 株式会社

●事業内容:翻訳事業

・ネットメディア向けの事業

・人材・求人 事業

・オンライン英会話事業

・留学・赴任・旅行・海外進出の支援事業

●大分支社所在地:

別府市石垣東1丁目2-18

サニーレジデンス石垣B

●正社員数:50名

●外国人在籍数:29名

(イギリス/アメリカ/台湾/
バングラデシュ/フィリピン/中国/韓国)

※アルバイト含む

●URL:

<https://www.weblio-inc.jp/wordpress/company/outline/>

□採用の背景

様々な「言語」を扱う事業内容なので、言語能力が高く優秀な人材を求めていたため。

□主な仕事内容

辞書の対訳、コンテンツ作り等を主に携わっている。

□採用までの流れ

インターンシップ後社員に登用する制度と、一般募集の2種類ある。

一般募集は面接を2~3回行う。

□採用のポイント

数か月間インターンシップを行う中で、会社の理念や社風、仕事内容をしっかりとレクチャーすることがポイント。数か月であっても、向き不向きを双方がしっかりと見極めることができるので、そこで相互一致した人材を採用するとミスマッチを防ぐことができる。

□活用のポイント

「外国人だから」といった特別扱いをしない。また、日本の価値観を強制するようなこともせず、相手の文化や考えを尊重し、平等に接している。そのため、現在7~8か国の出身者が在籍しているオフィスも非常にフラットな社風である。



今後の採用予定

インターンシップ生は必要に応じて
隨時募集。毎年新卒にて正社員を
数名(1~2名)採用していきたい。

【インタビュー】
経営企画部 相澤 貴俊 氏

株式会社 トランスコミュニケーション

●事業内容:IT業

- ・システム開発 アプリ制作
- ・ホームページ制作
- ・ITコンサルティング

●本社所在地:

大分市中央町1-5-25

新大分ビル3-C

●社員数:7名

●外国人在籍数:3名(インドネシア)

※インドネシアOffice勤務。

●URL:

<http://transcommunica.co.jp/>

□採用の背景

知り合いを通じて留学生活用に興味を持ったことがきっかけ。
留学生ならではのアイデアや意見を取り入れ事業展開をはかるため。

□活用のポイント

留学生の視点を大切にしている。日本と文化が違うので現地(インドネシア)の声を直接聞けることも活用メリットのひとつ。そのため、グローバルな感覚が社内においても非常に良い刺激になっている。インドネシアOfficeの社員とは毎日スカイプでやりとりを行い、常に情報をシェアしている。任せる大事さも必要。離れているからこそ、感謝の気持ちを伝えることに努めている。

元留学生のインタビュー

□入社を決めた理由

自身と同じビジョン、目的、情熱を持っている会社だったから。時差や労働文化の違いはあるが、グローバル企業においては当たり前のこと。ITに関する新たなことを共に学び高めあえる人や環境にも惹かれ入社を決意。

□主な仕事内容

プログラミングを主に担当している。システムのデザインや設計は主に日本で行うが、設計の一部をインドネシアで行う。

□今後の目標や夢

トランスコミュニケーションの製品を日本のみにとどまらず世界でも展開していきたい。これからも新たなアイデアに挑戦しつづけていく。



【インタビュー】
代表取締役
山本 謙治 氏
元留学生
Christian Chandra 氏

株式会社 TMH

□採用の背景

海外からの買い付けを中心としているので、対海外業務が必須のため。

□主な仕事内容

取引先企業との価格交渉などの商談や、書類の翻訳。また、通訳として社長の海外出張の同行、来日した外国人エンジニアへの対応等、国際業務全般に携わっている。

□採用までの流れ

一次試験、二次試験と採用面接を2回行う。コミュニケーション能力、やる気を重視している。

□採用のポイント

まずはインターンシップで一定期間雇用し、企業が求める人材とマッチしているかどうかを確認することが大事。その上でしっかりと面接を行うようにしている。実際の活用の場面では、外国人と日本人で線引きをするのではなく、同評価基準を適用しながら、しっかりとコミュニケーションをとることで、その人がどういう人物なのかを見極めることが大切である。

□活用のポイント

留学生に指示を出すときは、内容を明確に伝える。

日本では通じる「ニュアンス」的なものが伝わらない時があるので、コミュニケーションを大事にしている。



今後の採用予定

毎年1~2名程度は採用をしていく
たい。事業規模拡大、海外展開の検討、
現在仕入れの90%が海外からであ
ることから、グローバル人材の必
要性は年々大きくなっている。

【インタビュー】
代表取締役 榎並 大輔 氏

株式会社 ワンチャ一

●事業内容:貿易業

●本社所在地:豊後高田市高田2848番地-11

●正社員数:9名

●外国人在籍数:6名

(中国/韓国/ベトナム/バングラデシュ/
インドネシア)

●URL:<http://www.wancher.jp/>

□採用の背景

海外との取引が大半を占めるので、海外人材の活用は必須のため。

□主な仕事内容

・外国への販売/マーケティング

・日本Yahoo(インターネット、Yahooオークション)での販売/マーケティング

・中国のB to Cマーケット(アリババ)での販売/マーケティング

□採用までの流れ

インターンシップ後に採用する流れが多い。いきなり面接をして採用するよりも、
インターンシップを通じた方が相手のことがよく理解できるため双方のミスマッチが防げる。

□採用のポイント

その人材ができることは何なのか、やりたい仕事は何なのか。今後の成長を考え
る上での「仕事設定」を慎重にすることが大事。また、給料もきちんと見合った価
格設定がモチベーションにも繋がるので大切だと考える。大分で自分の立ち位置
を確立できれば、大分にとどまる可能性はとても高いと思う。

□活用のポイント

使用言語は基本的には英語で、サブで日本語を使っている。また、場合によって
は中国語や韓国語も使う。留学生にとって、より意志が伝わりやすい言語を用い
ながらコミュニケーションをすることに気を遣っている。また、社内のメンバーがど
のように感じ、思っているかを確認する場として、ミーティングも多く行っている。



今後の採用予定

将来的に現地雇用(中国)
での採用を検討中。

【インタビュー】
取締役社長 岡垣 太造 氏

留学生インターンシップ事例

旅館 山城屋

□留学生を活用した理由

山城屋を海外の多くの方に知って頂き、そして実際に来て頂くため、ホームページ
の多言語化を検討したことがきっかけ。その後留学生に翻訳をしてもらい、英
語、韓国語、中国語に対応したホームページが完成。(2004年)

□主な活用事例

大学コンソーシアムおおいたが主催の「ソリューション型インターンシップ」に参
加。テーマに対してインターンシップ生が解決策を考えプレゼンをする。そこで
実際に出了案を即座に取り入れ活用している。(例. 山城屋オリジナルの絵葉書
を作り、旅行客が自分の家族や友達に送る等)また、旅館までのアクセス方法の
説明動画を撮影し、中国語と韓国語での音声説明などをホームページに掲載す
ることで、より分かりやすい情報提供に取り組む。

□活用のポイント

こちらの意見を押し付けずに、彼らの意見・アイデアを大切にする。

□留学生活用を検討している企業に対してのアドバイス

(同業者の方へ)まずは実際に、宿で宿泊体験をしてもらうことが第一歩。そこから、おもてなしへのアドバイスやアイデアをもらったり、翻訳をしてもらったりと活用の方法が見えてくる。例えば翻訳も、文書のみを単独で訳してもらうではなく、実際に宿泊し体験することで、訳すときのニュアンスの伝わり方・説得力が変わってくる。



今後の採用予定

山城屋のお客様は
大半が外国からのお客様である。
そのため、今後は外国人社員を正規雇用
することも視野にいれている。

【インタビュー】
代表取締役社長 二宮 謙児 氏

●事業内容:旅館業

●本社所在地:由布市湯布院町湯平309-1

●正社員数:4名

●外国人在籍数:0名

* インターンシップや広報の一部にて

留学生を活用。

●URL:<http://www.e-yamashiroya.jp/>

留学生人材活用の STEP!

STEP 1

交流

- 業界グループや地域団体で留学生との交流会や意見交換会を開く
- 企業見学ツアーで留学生を招く
- 「企業と留学生の交流会」に参加する
(年に数回計画しています。)

STEP 2

インターンシップ (ビジネスアルバイト)

- ①留学生にやってもらいたい業務、新しいアイデアをもらいたい商品海外展開のための下調べなどテーマを決める
- ②求人内容
(条件・期間・手当等)を相談
- ③募集⇒選考
- ④インターンシップ実施

STEP 3

正社員採用

- ①自社の展開・戦略に応じた求人スケジュールの組み立て
- ②求人を出す
- ③選考⇒内定
- ④在留資格変更手続き
(在留資格“留学”から“就労できる資格”への切り替え)
- ⑤自社の通常の入社手続きとハローワークへ「外国人雇用状況」の提出

大学コンソーシアムおおいたでは留学生のビジネスアルバイト募集やインターン生募集ができる人材情報バンク(ACTIVE-NET)を運営しています。ACTIVE-NETを利用した留学生人材の募集の掲示については、お気軽にお問合せ下さい。もちろん利用、登録とも無料です。

ACTIVE-NET
<https://activenet.ucon-oita.jp/>



SPARKLE（おおいた留学生ビジネスセンター）

人口あたりの外国人留学生数が日本一である大分県では、将来のグローバル人材である優秀な留学生の卒業後の県内定着を図るために拠点施設として「SPARKLE（おおいた留学生ビジネスセンター）」をH28年秋に開設し、留学生の県内就職と起業を支援しています。海外展開や留学生との協働に関心を持つ県内企業にも積極的に活用いただき、新しいアイデア、価値、ビジネス等のSPARKLE（きらめき）の場となることを目指します。

サポート内容

- 1) 専門スタッフによる起業支援
- 2) 定期相談会（行政書士等によるビザ関係の相談会等）
- 3) 海外ビジネス、起業等にかかる各種セミナー等の実施
- 4) 県内企業と留学生の交流会
- 5) 留学生の就職支援



おおいた留学生ビジネスセンター

〒874-0926
大分県別府市京町11-8 APU PLAZA OITA 2階
TEL:0977-75-8067 FAX:0977-75-8068
mail:info@oibc.jp URL:<http://oibc.jp/>

特定非営利活動法人 大学コンソーシアムおおいた

地域と留学生の共生、そして留学生のチカラを活かし魅力ある地域づくりに寄与することを目的とし、2004年に創設されたNPO法人です。大分県内の大学や行政、産業界がメンバーとなっており、産学官連携で留学生を総合的にサポートし、地域で活躍してもらうための事業を実施しています。

主な事業内容

- 留学生人材情報バンク等による留学生の地域活動支援事業
- スポーツ・文化交流等による留学生等と地域との交流事業
- 留学生的インターンシップ、起業、就職支援事業

大学コンソーシアムおおいた

〒870-0839
大分市金池南1丁目5番1号 ホルトホール大分2階
TEL:097-578-7400 FAX:097-578-7401
mail:info@ucon-oita.jp
法人HP:<http://www.ucon-oita.jp>